

払うについて学ぼう

技術の進歩によってインターネットショッピングなど、新しい買い物の仕方がうまれてきました。どんな売り方があって、どんなお金の払い方が便利で安心なのか正しく理解することが大切です。



いろんな払い方があるんだね

支払い方法について知らない困るね



解説

お金を払う方法には大きく分けて3つあります。

- 即時払い…商品やサービスと引き換えに現金や商品券で支払う。
- 前払い…商品やサービスを受け取る前に代金を支払っておく。あるいは、あらかじめお金をチャージしたカードなどで支払う。
- 後払い…商品やサービスだけを先に受け取り、期日が来たら代金を支払う。

「即時払い」と「前払い」は予算を考えて支払いをするので、決まった金額以上の買い物をしなくて済みます。「後払い」は商品を受け取る時に手持ちのお金がなくても、期日までにお金が準備できればよいのですが、利子や手数料が必要になったり、買いすぎてしまったりする人が多くいます。

3つの支払い方法

即時払い

現金・商品券・デビットカードなど

前払い

プリペイド型の電子マネー(ICカード)・図書カード・回数券・定期券など

後払い

クレジットカード(一括払い・分割払い)など

販売方法と支払い方法

商品の販売方法によって払い方も違ってきます。

店舗販売

コンビニエンスストア、スーパー、デパートなど実際にお店があり、お客自身が店に行って商品の買い物をします。現金での「即時払い」が多いですが、「前払い」「後払い」も利用できます。

無店舗販売

カタログやインターネットを使って商品を売ったり、販売員がお客の家に行き商品売る販売方法です。商品を自宅に届けてくれるという長所がありますが、商品を自分の目で確認できない場合が多く、買い物をしている実感が少ないなどの短所もあります。

それぞれの特徴をよく調べ、自分にとって最適な買い方・払い方を選ばなくてはなりません。

考動ポイント!

使えるお金を決めておこう。
足りない時は貯めてから買うようにしよう。

支払いは買い手の義務ですから、自分にとって、確実に支払うことのできる方法で買い物をしましょう。「支払うことができるかどうかわからないけど」、「もうすぐお金がもらえるから大丈夫」、という気持ちで後払いにすると、約束の期日に支払えないことも考えられます。子どもでも、おとなでも、自分で使えるお金には限りがあります。使えるお金の範囲を決めて買い物をする習慣を身に付けることが大切です。